

高浜市の未来を創る市民会議

☆ ニュースレター ☆

平成 24 年度 第 3 号

【編集・発行】

高浜市役所企画部地域政策グループ

☎0566-52-1111 内線 365

第3回の市民会議は・・・

総合計画の目標達成に向けた点検・確認結果を発表しよう！

第3回市民会議を、9月24日(月)午後7時より、市役所4階にて開催しました。参加者はメンバー・傍聴者合わせて141人でした。

■ 総合計画を“絵に描いた餅”にしないために

高浜市のまちづくりの設計図である「第6次総合計画」がスタートして2年目。市民のみなさんとともに描いた計画を「絵に描いた餅にならないようにしていこう!」、そんな思いから、今年度の市民会議では、上半期に、総合計画の目標達成に向けた「点検・確認作業」を行ってきました。

テーマごとに編成した分科会単位で、平成 23 年度に実施した取り組みが、掲げた目標に向かって効果が表れているか、そして、目標達成に向けて「もっとこんな取り組みを進めたらどうだろう?」「こんな工夫が必要では?」といった市民目線の具体的なアイデアの検討を行ってきました。



発表順はくじ引きで決定!

■ 市民目線で改善アイデアを提言

第3回市民会議は、上半期の集大成ともいえる「点検・確認結果」の発表。約3か月にわたる検討内容について、わかりやすく伝えようと、それぞれの分科会が工夫を凝らし、個性を活かした発表が行われました。

発表内容は「提言書」としてとりまとめられ、各分科会の市民リーダー等で構成する「第6次高浜市総合計画推進会議」において、市長へ提出されました。(4ページ参照)

【点検・確認結果 発表までのあゆみ】

1

市民会議キックオフ(5/28)

市民会議の役割やスケジュールを共有



今年度も頑張るぞ!

大家族たかはまダー!!

2

点検・確認作業(6月下旬~9月中旬)

テーマごとに9つの分科会を編成して意見交換。分科会の開催回数のはのべ34回!

- ① 現状把握
平成 23 年度の取り組みの振り返り
市民意識調査結果や指標実績の検証
- ② 課題の抽出
- ③ アイデアの検討



市役所を飛び出し、地域の拠点で分科会を開催(学校教育分科会)



アイデア出しに試食は不可欠!(産業・観光分科会)

3

点検・確認結果を発表(9/24)

各分科会の発表内容は内側のページをご覧ください



総合計画の目標達成に向けての改善アイデア



みんなで、せーの！「たかはまC(しー)!!!」

発表順1 産業・観光分科会

「まちの自慢をつなげてアピールしていこう！」

まちの自慢の品をもっと広めたり、売上を伸ばしていくためには、地場産業である三州瓦・鬼瓦の他、とりめしなど地域の味もみんなつなげてPR強化していこうと提言しました。特に、新しい地域の味と新たな特産品を生み出すという視点では、開発中の特産野菜を活用できないかと活発に意見交換し、分科会で特産野菜候補の青ナスの試食会も開催しました。皆さんからもレシピのアイデアを募集するなどして、自慢の品を育む話題を創っていきたいです。

発表順2 生涯学習分科会

「まなびの輪をまち全体へ広げていこう！& 『たかはま子ども市民憲章』の想いを浸透させよう！」

まなびの輪を広げるために、自分が学んだことを留めず、教えたり教わったりする結びつきが大切と考え、①現状の「見える化」→②情報発信→③結び付けと、段階的にまなびの輪を広げることににより、「高浜市が大好き」「将来の夢を持っている」人を増やしていこう！と提言しました。

また、子どもと大人が向き合う意識を高めるため、「子ども市民憲章」を広める取り組みとして、絵本の活用やイベントでのPR、「笑顔の写真展」などの既存事業の充実が必要ではないかと考えました。



大学生も参画、若い世代の意見から刺激を受けています

発表順3 健康分科会

「健康に暮らす知識・意欲を持つ人を増やしたい！」

「健康たかはま 21」、「いきいき健康マイレージ」、「かかりつけ医をもとう」について検討を進めました。

「地域医療ネットワーク」の整備により、刈谷豊田総合病院と診療所の連携が強化されたことから「かかりつけ医」を持つ意義が高まっています。「いきいき健康マイレージ」では、実践者からの口コミによる仲間づくりの広がりが期待されます。

また、地域の事業に積極的に参加することで、健康づくり、仲間づくりの推進を目指します。



アニメのキャラクターに扮した劇で楽しく、わかりやすく発信



みんなでまちをきれいにしていきたい！ 熱のこもった発表でした

発表順4 環境・憩い分科会

「ゴミ減量とマナー向上の方法を考え、伝えよう！」

ごみ問題の解決策を“自助”“共助”“公助”の面からそれぞれ考えました。“自助”は「マナー向上作戦」により、ごみの問題はマナーの問題であるという意識づけを狙います。“共助”は、分別Q&Aを充実させることや市民一斉清掃に参加することにより、地域みんなで共にごみを減らそうというものです。“公助”では、「不法投棄撲滅作戦」を掲げ、不法投棄に関する情報・実情などを考え、みんなで監視していこうというアイデアをまとめました。

発表順5 学校教育分科会

「子ども・地域・まなびを結び付けていこう！」

学校の授業や行事に地域の人たちとの関わりを取り入れていくことによって「毎日が楽しい」「勉強に積極的に取り組む」子どもたち、「地域行事やボランティア活動に参加する」子どもたちを増やしていくために、まずは、市民や地域が関わる学校授業・行事を「見える化」するとともに、学校の想いと地域の想いをマッチングする仕組みが必要では？と提言しました。

下半期の分科会活動では、今回の提言内容を掘り下げ、さらに具体的なアイデアとして深めていきたいと考えています。



模造紙にたくさん出されたポストイットがメンバーの熱い想いを表しています

～点検・確認結果の発表概要をご紹介します！

発表順6 自治推進分科会

「大家族たかはま&自治基本条例の精神を広めて、まちづくりの仲間を増やそう！」

高浜市の目指すまちの姿を表すキャッチフレーズ「思いやり支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を広げていくためのアイデアを出し合いました。のぼり旗の作成や回覧板の活用など、市民の皆さんの目に触れる機会を増やし、市民と行政がともに市の経営を行うための目標を共有していきます。あらゆるチャンスを使って、とにかく、まずはやっつけていこう！と思います。

また、自治基本条例の子ども向け副読本を活用して、小学校へ出前授業に出かけ、子どもたちに、そして、子どもを通じて大人に、地域へ関心を持ってもらい、みんなでまちづくりを行うことの大切さを伝えていきたいです。



発表には、帽子をかぶった小学生!?も登場



今年度は女性メンバーも加わり、さらにパワーアップ！

発表順7 財政分科会

「市の財政をもっとわかりやすく伝える手段を探ろう！」

“より多くの市民のみなさんに財政状況に関心を持ってもらおう！”と提案しました。たとえば、財政をゲーム感覚で学べるようにする、公共施設などに財政情報を閲覧できる場所を設置するなど、気軽に財政に触れられる機会の創出について考えました。

“行政運営を効率化しよう！”というテーマでは、市役所職員の時間外勤務の削減のみから判断するのではなく、業務の効率化によりコストがどれくらい減ったかで判断することが必要であるなどのアイデアを出しました。

発表順8 防犯・防災分科会

「安心・安全を目指して！」

防犯分野では、防犯意識が向上し、人々が日常生活の中で治安の良し悪しを感じる「体感治安」の基本である“あいさつ”を家庭・地域で実践することを提案。その調査・実証のため、市内の学校に出向き、あいさつ検証を行い現状把握を行いました。

また、防災分野では、みんなが災害想定を共有し、3日間生き延びるという実現可能な目標を立て、準備することが重要課題と周知徹底していくことに併せて、防災訓練の充実や標高サインの設置場所の再アピールや増設計画をしたいと考えています。



8月20日登校時
吉浜小学校にて
あいさつの検証



発表順9 地域福祉分科会

「支え合いのネットワークを強くしたい！」

「New ボランティア人」、「ボランティア広場センターへの登録」、誰でも楽しめるスポーツ「ポッチャ」について議論を重ねました。

地域の支え合いに貢献する「New ボランティア人」の認知度を高めるため、「かりや衣浦つながるネット」でのPR、リーフレット配布などを実施していくこととしました。

また、「ポッチャ」を一緒に楽しむことで、高齢者・障がい者・子どもたち・地域のつながりの強化をめざします。

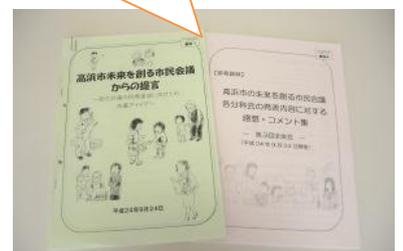


発表の感想を出し合おう！

各分科会の発表を聞きながら、発表に対する感想やエールをポストイットに書き出し、各分科会が作成した模造紙に貼り込みました。

- ☆「将来を担う子ども達に条例をわかりやすく説明した副読本の活用で条例が全ての子ども達に伝わっていくことを期待しています」
- ☆「人は誰でも特技や経験を持っています。その意味で誰でも先生になれると思います。市民の誰もが先生となる“まなびの輪”を広げればと思います。」
- ☆「あいさつは防犯に限らずまちづくりの基礎だと思います。“大家族”の実践のためにも、あいさつ運動、あいさつ通り、是非実現してほしいです！」

『市民会議からの提言』
『(参考資料)意見・コメント集』としてまとめました



意見・コメントの一部をご紹介します

